

網使用料算定根拠

(接続料と利用者料金の関係の検証)

価格圧搾による不当な競争を引き起こしていないと考える理由(フレッツADSL)

接続料と利用者料金の関係の検証の検証対象である「フレッツADSL」については、利用者料金収入と接続料相当との差分が営業費相当基準額(利用者料金による収入の20%)を下回ることとなりますが、以下の理由から、価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないと考えます。

- フレッツ・ADSLについては、関連物品の製造終了による保守物品の枯渇、および需要の減少傾向が今後も継続すると見込まれることから、一部のエリアを除いて、2016年6月末に新規受付を終了しており、2023年1月末にはサービス提供を終了することを公表したことに加え、FTTHやモバイルブロードバンド等の代替サービスへの移行が進んでいることを踏まえると、競争環境にあるサービスとは言えないこと。
- 営業費相当が基準値を下回った主な要因は、本検証区分における接続料金相当の約8割を占める、地域IP網に係る接続料(特別收容局ルータ接続ルーティング伝送機能・ATMインターフェース)の料金水準が高いことによるものである。
当該接続機能は、現在前まで当社利用部門のみが利用しており、また、2018年度より整理品目となっていることから、今後新たな接続事業者の利用は見込まれないため、価格圧搾による不当な競争を引き起こすものではないこと。

(参考1) 地域IP網(特別收容局ルータ接続ルーティング伝送機能・ATMインターフェース)の接続料

(単位:円/ポート・月)

| | 2009適用 (2007実績) | 2010適用 (2008実績) | 2011適用 (2009実績) | 2012適用 (2010実績) | 2013適用 (2011実績) | 2014適用 (2012実績) | 2015適用 (2013実績) | 2016適用 (2014実績) | 2017適用 (2015実績) | 2018適用 (2016実績) | 2019適用 (2017実績) |
|--|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 特別收容局ルータ接続 ルーティング伝送機能 (ATMインターフェース) 接続料 | 221,768 | 179,560 | 129,244 | 104,283 | 117,101 | 136,651 | 147,699 | 156,974 | 188,450 | 240,161 | 235,062 |

(参考2) フレッツ・ADSL施設数の推移

(単位:千契約)

| | 2007年度末 | 2008年度末 | 2009年度末 | 2010年度末 | 2011年度末 | 2012年度末 | 2013年度末 | 2014年度末 | 2015年度末 | 2016年度末 | 2017年度末 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| フレッツ・ADSL施設数 | 2,246 | 1,934 | 1,681 | 1,439 | 1,187 | 990 | 816 | 669 | 577 | 508 | 438 |